


# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13501	科 名 ファッション流通科1年		単 位	2 単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間	通年

担当教員(代表): 野原 美香

共同担当者: 2=岩村. 3=徳満. 4=吉田. 5=内田. 6=松本. 7=縄田. 8=北村. 9=佐藤

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後役に立つ知識を習得する。ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	有意義な学生生活のためにⅠ「ストレスチェックとそのパターン」	16	就職対策 「履歴書・面接」③
2	有意義な学生生活のためにⅡ「対人関係パターン」	17	就職対策 「履歴書・面接」④
3	ビジネスマナーⅠ「挨拶と返事」	18	就職対策 「履歴書・面接」⑤
4	下着の一般知識	19	就職対策 「履歴書・面接」⑥
5	職種研究Ⅰ	20	スタイリストの世界
6	職種研究Ⅱ	21	服飾解剖学Ⅰ「人体観察(シルエット)」
7	プロポーション美学演習「正しい姿勢と歩き方」	22	服飾解剖学Ⅱ「人体と頭部について」
8	問屋街見学(横山町)	23	エディターの世界
9	メイクアップアーティストの世界 「ファッションをいかすヘアメイク」	24	生産管理機器見学説明
10	ビジネスマナーⅡ「仕事とは、働くことの意義」	25	美術館見学①
11	リテールマーチャンダイジング「計数について」	26	美術館見学②
12	ファッションアドバイザーの世界	27	観劇(舞台衣装見学)
13	就職対策 「自己分析」	28	観劇(舞台衣装見学)
14	就職対策 「履歴書・面接」①	29	
15	就職対策 「履歴書・面接」②	30	

【評価方法】 履修認定(P表示) 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

雑誌編集長によるエディターの世界、モデルのウォーキング指導を行う企業より正しい姿勢と歩き方、下着メーカーによる下着の一般知識、人材教育のコンサルティング、大学生対象就職対策講座企画・運営・講師などの経験をもとに就職に必要なコミュニケーション力強化、ビジネスマナー等の実践指導を実施。

記載者氏名 吉田 真理子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13501	科 名 ファッション流通科 1年	単 位	2単位
科目コード 504500	科目名 コンピュータワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：塚田大祐

共同担当者：西村 元良・中村 浩

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けられることができると表現方法に広がりを持たせることを目標とする。

- ・ドローソフト／Illustrator の基礎 ペイントソフト／Photoshop の基礎
- ・オフィスソフト／Excel・PowerPoint の基礎

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は全て講義・実操作で行い、実習の練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく

### ■オリエンテーション 1コマ

- ◆ 教室利用の注意事項、及び個人ID利用の説明・日本語入力の基礎確認

### ■フォトタッチ系ソフト (Photoshop / Adobe社製) 9コマ

- ◆ 基本操作、画像の加工方法及び、印刷物へ利用する為の画像の基本知識・操作を習得
- ◆ ①画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③課題 コラージュの制作

### ■ドロー系ソフト (Illustrator / Adobe 社製) 4コマ

- ◆ 基本操作、MAPや企画書を作成していく上で必要となる機能・操作を習得
- ◆ ①ツール操作方法 ②図形・線の描画 ③文字の入力 ④課題 コラージュの制作

### ■Photoshop / Illustratorの連携操作による課題制作 7コマ

- ◆ 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明
- ◆ <課題> 自分の好きなブランドのトレンドを予測したA3サイズのイメージマップ制作

### ■プレゼンテーション作成ソフト (PowerPoint / Excel Microsoft社製) 6コマ

- ◆ PowerPoint ①ツール基本操作 ②スライドの作成 ③画像の利用 ④アニメーション・画面切り替えの設定
- ◆ Excel ①表作成および四則演算 ②基本関数 ③グラフ作成 など

全コマ数：27コマ

## 【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書：事前に準備した素材を配布科目コード

参考図書：特にありません

その他資料：筆記用具、USB フラッシュメモリ

## 授業の特徴と担当教員紹介

DTP による印刷制作や雑誌、カタログ、チラシ、HP のデザイン制作、運営を中心とする実務経験から、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を実施。

百貨店におけるオンラインショッピングの販促企画担当や、フリーランスとして企業 WEB サイトの企画デザイン制作を手掛けるキャリアを活かし、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業の実施。

コンピュータープログラマー、CG デザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた。この経験をもとに、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を実施。

記載者氏名 塚田大祐

# 2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

1

科コード 13552	科 名 ファッション流通科 2 年 ファッションメイクアップ コース	単 位	1
科目コード 704001	科目名 化粧科学 A	授業期間	

担当教員(代表) : 立花 正雄	共同担当者 : 夏目 幸恵
------------------	---------------

教育目標・レベル設定など

健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ方法を学び、顧客に対して質の高いコミュニケーションを行うために分かりやすく説明できる能力を養うことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |   |   |      |
|---|---|------|
| ① | 化粧品概論   | × 1  |
|   | ・ 化粧品とは、化粧科学とは、基礎知識を学ぶ                                |      |
| ② | 化粧品原料と基礎知識・皮膚科学                                       | × 2  |
|   | ・ 皮膚の構造・機能・仕組みと働きなど基礎を学ぶ                              |      |
|   | ・ UV ケアとモイスチャーバランスの使用方法                               |      |
| ③ | 化粧品の基礎知識  | × 10 |
|   | ・ 化粧原料について<br>(原料と特徴、保存方法)                            |      |
|   | ・ 界面活性剤について<br>(クレンジング、洗顔フォーム、パック、化粧水、乳液、石鹸、ファンデーション) |      |
|   | ・ 医薬品医療機器等法について<br>(定義と法規制)                           |      |
|   | ・ 化粧品検定対策Ⅰ・Ⅱ<br>(集中問題解答・解説)                           |      |

評価方法

学業評価 90% 授業態度 10%

主要教材図書

参考図書 日本化粧品検定 2・3 級対策テキスト

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

美容師免許を取得し都内サロンでの勤務経験やコレクションのバックヤードでの経歴を生かし化粧品の基礎知識と肌と毛髪の正しいお手入れ方法などについて指導する。

記載者書名欄 夏目 幸恵

# 2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 13552	科 名 F 流通科 2 年	ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード 704100	科目名 エステテック		授業期間	通年（月 1 回×2 コマ）

担当教員(代表)：宮本 洋子	共同担当者：赤井 美香
----------------	-------------

## 教育目標・レベル設定など

人間の表面の美しさだけではなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステテックを学んでいく。  
技術だけではなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び。自らの心も成長させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I. エステテック概論・実習 (体や肌の構造) (スポンジ・タオルの施術)
- II. エステテック概論・実習 (最新ダイエット) (クレンジング・マッサージの施術)
- III. 化粧品知識・実習 (化粧品の仕組み、利点) (コース行程・手順の把握)
- IV. 美しさ 100 年の秘訣 (今しておくべきこと) (コース行程・手順の把握)
- V. 実習 (相モデルにて技術と心配りの習得)
- VI. 総まとめテスト (ご案内～施術)
- VII. 実技テスト (ご案内～施術)

## 評価方法・対象・比重

出席 50% 授業態度 20% テスト 30%

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

エステティシャンとして活躍する実績をもとに、エステテックを指導し、技術だけでなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学習させる。

記載者書名欄 宮本 洋子

# 2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 13552	科 名 ファッション流通科2年 ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード 704200	科目名 ネイルデザイン	授業期間	通年（月1回×2コマ）

担当教員(代表)：赤木 桃	共同担当者：
---------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ネイルサロンが提案するネイルデザイン・テクニックを学び、新しいネイルデザイン発想提案する。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>I. ネイルデザインについてのネイルケア&amp;プレパレーション</p> <p>II. ジェルネイルの塗り方について (フレンチ)</p> <p>III. ジェルネイルの塗り方について (ドット・マーブル)</p> <p>IV. ジェルネイルの塗り方について (ペイントアート①)</p> <p>VI. ジェルネイルの塗り方について (ペイントアート②)</p> <p>VII. フリーデザイン</p> <p>VIII. フリーデザイン②実技試験</p>
--

評価方法・対象・比重	S～C・F評価	評価基準：学業評価 80%	授業態度 20%
------------	---------	---------------	----------

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>ネイリストとしての実務経験をもとに、ネイルデザイン・テクニックを学び、新しいネイルデザイン発想提案の授業を実施。</p>
---

記載者書名欄 赤木 桃
-------------



科コード 13552	科 名 ファッション流通科 2 年 ファッションメイクアップ コース	単 位	2
科目コード 503600	科目名 ビューティフォト	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐藤 竜太	共同担当者：各担当講師
----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

映像表現の専門知識・技術力を身につけ、メイクアップを引き立てる撮影方法を学ぶことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |                   |                  |         |       |
|-------------------|------------------|---------|-------|
| 1. オリエンテーション      | 撮影用具の使い方他        | 撮影実習・講義 | 1 コマ  |
| 2. 撮影技術の基礎知識      | 撮影技術の習得          | 撮影実習・講義 | 1 コマ  |
| 3. 表紙撮影           | テーマに沿った撮影方法を学ぶ 他 | 撮影実習・講義 | 2 コマ  |
| 4. メイク作品撮影        | フレッシュメイク撮影 他     | 撮影実習・講義 | 6 コマ  |
| 5. 実技試験           | メイク作品撮影          |         |       |
| 6. メイク作品撮影        | ヘアウィッグ撮影 他       | 撮影実習・講義 | 13 コマ |
| 7. 卒業自由作品メイクアップ撮影 |                  | 撮影実習・講義 | 3 コマ  |
| 8. 実技試験           |                  |         |       |

評価方法	S～C・F評価	評価基準：学業評価	80%	授業態度	20%
------	---------	-----------	-----	------	-----

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

カメラマンとして雑誌、広告などで活動する経験を活かし、カメラの基本構造、構図の決定の効果、質感の描写のポイント、ライティングのテクニック、テーマの別の撮影の設定について授業を実施。

記載者書名欄 佐藤 竜太

科コード 13552	科名 ファッション流通科 2 年 ファッションメイクアップ コース	単 位	1
科目コード 704002	科目名 化粧品科学 B	授業期間	

担当教員(代表)：立花 正雄	共同担当者：夏目 幸恵
----------------	-------------

## 教育目標・レベル設定など

健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ方法を学び、顧客に対して質の高いコミュニケーションを行うために分かりやすく説明できる能力を養うことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |   |                            |   |   |
|---|----------------------------|---|---|
| ④ | 化粧品の基礎知識                   | × | 3 |
|   | ・医薬品医療機器等法について<br>(定義と法規制) |   |   |
|   | ・化粧品検定対策Ⅰ・Ⅱ<br>(集中問題解答・解説) |   |   |
| ② | ボディ化粧品の基礎知識                | × | 1 |
|   | ・身体の構造と仕組みについて             |   |   |
| ③ | ネイル・香・サプリメント・オーラルケアとケア製品   | × | 1 |
|   | ・爪・嗅覚・口腔・歯の構造について          |   |   |
| ④ | 化粧品の基礎知識                   | × | 3 |
|   | ・化粧品検定対策Ⅰ・Ⅱ<br>(集中問題解答・解説) |   |   |
| ⑤ | 毛髪サイエンス                    | × | 4 |
|   | ・髪の毛の構造と成分について             |   |   |
|   | ・シャンプー剤・トリートメント剤について       |   |   |
|   | ・ヘア剤について                   |   |   |
|   | ・ヘア道具の使い方について              |   |   |
| ⑥ | まとめ                        |   |   |
|   | ・化粧品の官能評価について              | × | 1 |

評価方法 学業評価 90% 授業態度 10%

## 主要教材図書

参考図書 日本化粧品検定2・3級対策テキスト

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

美容師免許を取得し都内サロンでの勤務経験やコレクションのバックヤードでの経歴を生かし化粧品の基礎知識と肌と毛髪の正しいお手入れ方法などについて指導する。

記載者書名欄 夏目 幸恵

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13552	科 名 ファッション流通科ファッションメイクアップコース	単 位	1 単位
科目コード 608000	科目名 ファッション情報	授業期間	通年（隔週）

担当教員（代表）：高橋 優	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ①ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。  
また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。
- ②市場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける。

【授業計画】テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・授業内容の説明 ・情報活用の重要性について ・ファッション情報の種類について	8	・リアル市場のアパレル商品や広告について （ヘアメイク・プロモーションなどの傾向把握）
2	・ターゲット分類について ・ブランディングについて	9	・コレクション情報がどのように市場に 反映されたかの確認 ・レポート製作
3	・消費者のイノベーター分類について ・一般的なシーズン MD について	10	・市場趨勢の把握について ・市場予測の振り返り
4	・コレクション情報の把握とその分析について ・コレクション情報の市場への影響について	11	・コレクション情報の把握とその分析について ・コレクションとリアル市場の照し合せ
5	・コレクション分析 ・レポート製作	12	・リサーチ手法について ・レポート製作
6	・プレゼンテーションの手法について ・レポート資料のプレゼンテーション	13	・プレゼンテーションの手法について ・レポート資料のプレゼンテーション
7	・市場調査の意味とその手法について ・店舗調査と、視察調査の実施 ・商品情報（2018AW）の収集と分析について	14	・トピックス資料作成の仕上げ ・展示資料におけるプレゼン手法について

## 【評価方法】

制作物＋出席状況 （7：3）

## 主要教材図書

服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワード・リソースセンター映像ルームコレクション映像など

## 参考図書

## その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

アパレルマーケティング企業において、市場調査やアパレル企業、商社、百貨店向けの企画提案を行っていた教員による授業である。この経験をもとに、ファッション情報の収集、その分析方法、加えてそのプレゼンテーション方法などの実務指導を実施する。

記載者氏名 高橋 優



科コード 13552	科 名 ファッション流通科 2 年 ファッションメイクアップ コース	単 位	2
科目コード 980020	科目名 特別講義	授業期間	通年

担当教員(代表)：夏目 幸恵	共同担当者：各担当講師
----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

ファッションとヘアメイクをトータルにコーディネート提案・表現するために、後の時代を読み取り自己の可能性、方向性を見つけ幅広い表現者としての現場で活躍している方々から知識を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| ・ コスメセールス               | 90×2 |
| ・ ヘアテクニック               | 90×4 |
| ・ ファッションメイクアップアーティストの仕事 | 90×4 |
| ・ ファッションブローガーの仕事        | 90×1 |
| ・ 特殊メイク                 | 90×6 |
| ・ ヘアアクセサリーの仕事           | 90×2 |
| ・ アートディレクターの仕事          | 90×1 |
| ・ パーソナルカラー              | 90×4 |
| ・ コスメ撮影のテクニック           | 90×4 |
| ・ トренд情報               | 90×2 |

評価方法

受講P

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アクセサリーデザイナーによるヘアアクセサリーの制作実習、メイクアップディレクターによる特殊メイク実習、カラーリストによる美容部員に必要なパーソナルカラー、プロのメイクアップアーティストによる顔の骨格や筋肉のバランスに合わせた骨格メイクなど、ファッションとヘアメイクをトータルにコーディネート提案・表現するために、幅広い表現者として現場で活躍している方々から知識を学ぶ。

記載者書名欄 夏目 幸恵